

令和5年度 大塚小学校 学校評価アンケート結果について

令和6年2月

令和5年度の学校評価アンケートの結果をお知らせします。この結果をもとに、来年度の教育活動を充実していきます。ご協力ありがとうございました。

【グラフの見方】 ◎当てはまる

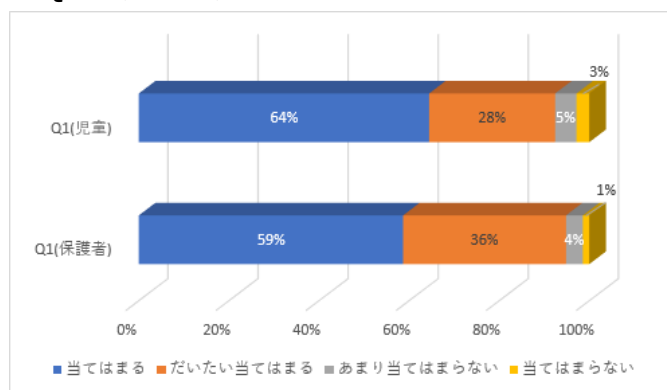
○だいたい当てはまる

△あまり当てはまらない

▲当てはまらない

Q1（児童） 学校に行くのが楽しい

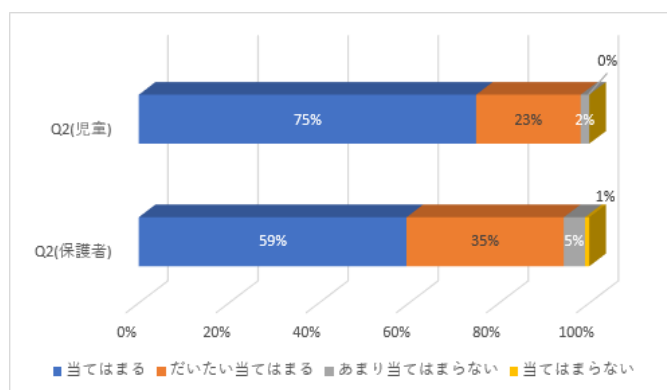
Q1（保護者） お子さんは、楽しく学校に通っている



学校経営方針である「学校は楽しい」において、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送れることは、最も大切なことです。◎と○の合計が、児童92%、保護者95%と、ともに高い数値になっています。長期間に渡ったコロナ禍も明け、様々な教育活動に取り組んできました。そんな中で、多くの子どもたちが学校を楽しんでいることが分かります。今後も、子どもたちが「学校は楽しい」と思えるように、日頃の授業や活動を工夫していきたいと思っています。

Q2（児童） 友達と仲良く勉強したり、遊んだりしている

Q2（保護者） お子さんは、学校で友達となかよく過ごしている（お子さんの会話より）

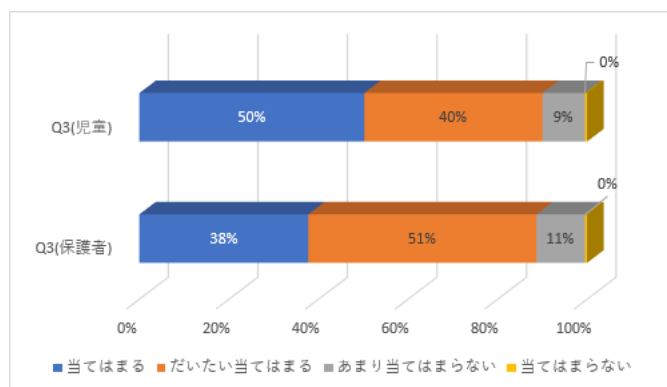


◎と○の合計が、児童98%、保護者94%という結果となりました。子どもたちの様子を見てみると、コロナ禍も終わり、体を寄せ合い遊んだり、話したりと友達と楽しく学校生活を送る姿が見られます。一方で、友達とどう接したらよいのか難しく感じている子もいるように思われます。子どもたちは、友達と一緒に生活する中でより良い人間関係づくりを学びます。何でも相談できる友達がいることは、大きな心の支えとなります。今後も、友達相互のかかわり合いを大切にした授業や学校・学年行事を通

した取り組みを充実させていきたいです。また、地域学校協働活動においても、地域の学習をする中で、地域の方々とのつながりはもちろんのこと、子どもたち同士のかかわりを深めていけるようにしたいと思っています。さらに、子どもたちが成長していく中で変化する友達関係を見守りながら、互いの良さを認め合えることができる子どもたちを育てていきたいと考えます。

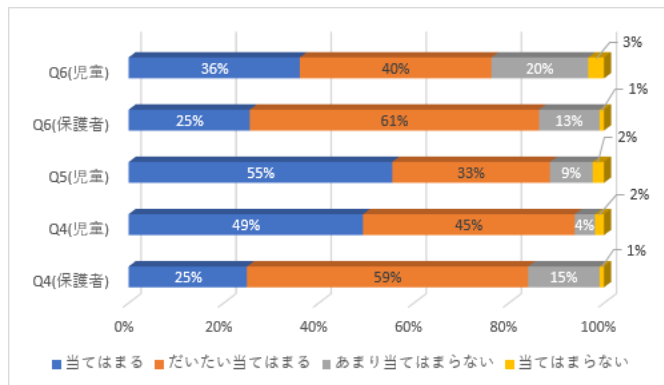
Q3（児童） 元気な声であいさつや返事をしている

Q3（保護者） お子さんは、あいさつがしっかりできている



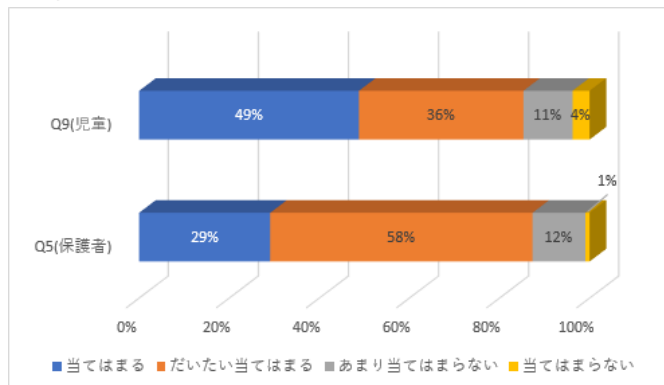
あいさつについては、◎と○の合計が、児童90%、保護者89%となりました。学級や全校であいさつの大切さについて考えてきました。今年度は児童会スローガン「E G A O大塚」のもと、「あいさつで大塚の人を笑顔にしよう」などたくさんの企画を行い、学校内はもちろん、登下校でも多くの子どもたちが笑顔であいさつをする姿を見ることができました。今後も、さらに子どもたちがあいさつや返事の大切さを理解し、行動できるように全校体制で取り組んでいきたいと思っています。

- Q 6 (児 童) 進んで自分の考えを発表している
 Q 6 (保護者) 先生は、分かりやすくていねいに教えてくれる
 Q 5 (児 童) 授業の内容が分かり、楽しく学習している
 Q 4 (児 童) 先生の話を中心して聞いている
 Q 4 (保護者) お子さんは、各教科の基礎・基本的な学力を身につけている



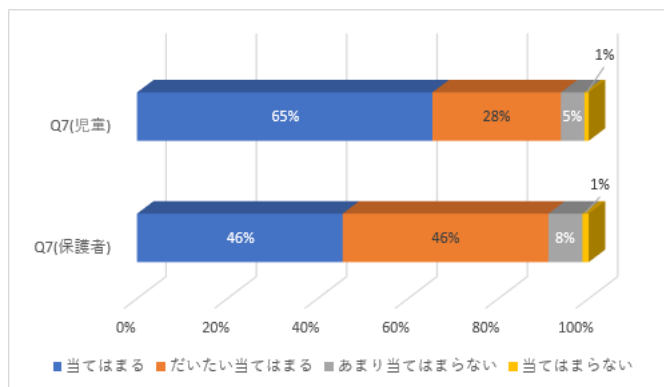
◎と○の合計が、Q 4 保護者 94%、Q 5 児童 88%、Q 6 保護者 86%となりました。子どもたちが楽しく学習し、各教科の基礎・基本的な内容を理解できるよう授業の工夫に努めてきました。今後も、自ら学ぼうとする力を伸ばせるよう、そして基礎・基本的な学力が身につく授業になるよう、職員一同努力してまいります。Q 4 児童の◎と○の合計 94%と9割以上の子どもたちがあてはまると回答しています。日頃から、「話す相手に目・耳・心を向けよう」と静かになるまで待つことや授業展開に工夫を行うように努めています。しかし、Q 6 児童の、◎と○の合計が 76%とQ 4 児童「話を聞く」ことに比べては低い数値となっています。今後も、話し合い活動の中で互いの考えを認め合う活動を大切にすることで、考えを発表しやすい雰囲気づくりに努めていきたいと考えます。

- Q 9 (児 童) 困ったことなど先生に相談している
 Q 5 (保護者) 学校は、子どもを理解し、相談できる存在となっている



◎と○の合計が、児童 85%、保護者 87%となりました。他と比べて低い値であることを真摯に受け止め、より子どもたちの様子を見ていくとともに、困ったことなど気軽に相談しやすい雰囲気づくりに努めてまいります。また、教育相談の時間等を大切に、一人一人に寄り添い、子どもたちが、安心して楽しく学校生活を送ることができるよう心がけていきたいと思ひます。さらに、学校と家庭が連携して、子どもたちが感じている不安や困りごとをいち早くとらえていけるようにしていきます。

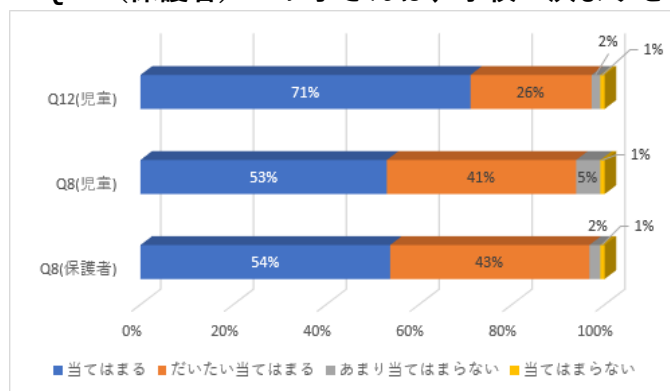
- Q 7 (児 童) 地域の方との勉強や活動は楽しい
 Q 7 (保護者) 学校と地域で「まちぐるみで子どもたちを育てていく」ことが大切であると思う



◎と○の合計が、児童93%、保護者が92%と高い数値を示しています。本校は昨年度より地域学校協働活動に取り組んでいます。今年度も、地域の方々に、授業サポート、子どもたちの見守りや支援、環境整備などご協力いただきました。1月現在延べ300人近くの方に学校へ来ていただきました。来年度より大塚中学校区のコミュニティ・スクールがはじまります。今後も保護者の皆様、地域の方とともに、子どもたちの成長を育んでいけるよう開かれた学校づくりに取り組みます。

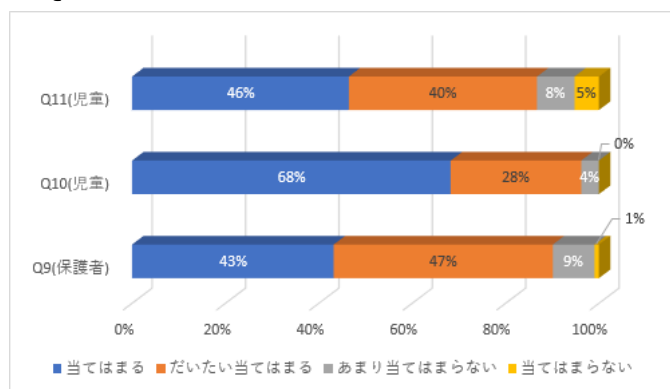


Q 8 (児 童) 学校のきまりや約束を守って生活している
 Q12 (児 童) そうじや当番の仕事をしっかりとやっている
 Q 8 (保護者) お子さんは、学校の決まりを守って生活している



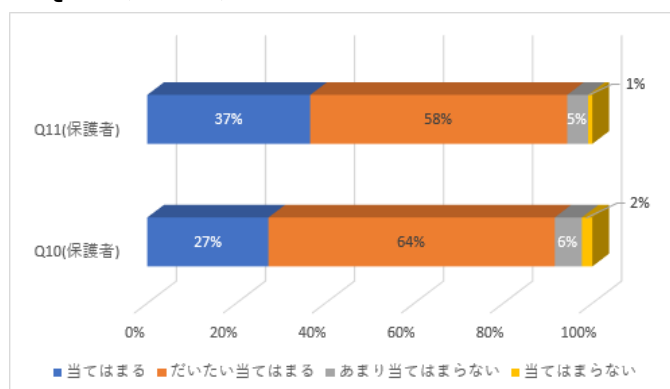
◎と○の合計が、Q 8 児童94%、保護者97%、Q 12児童97%となりました。子どもたちは学校生活において、自分の役割を理解して、そうじや給食当番、係活動、委員会活動など責任もって行うことができました。また、規則正しい生活を心がけ、きまりを守って安全に過ごすことができました。特に、校外の活動（修学旅行、野外活動、社会見学、校外学習など）では、自分たちできまりや約束ごとを考え、実際に行動することで達成感に繋がり、自主性が育ちました。

Q10 (児 童) 友達にやさしくしている
 Q11 (児 童) 自分にはよいところがある
 Q 9 (保護者) お子さんは、いろいろな子（同学年・同学年以外の子）と仲良くできている



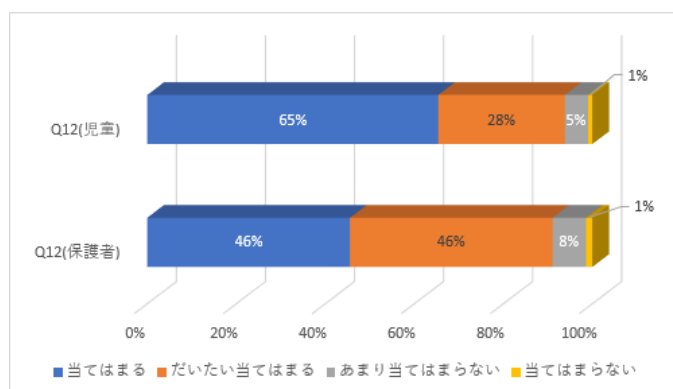
◎と○の合計が、Q10児童は96%、Q 9 保護者90%でした。Q11児童は◎と○の合計が86%で、8割以上の子が自分に対して肯定的な思いをもっていることが分かります。今後も互いを思いやり、尊重し合う学級経営を大切にすることで、周りの人にやさしくできる子、そして自分のよさに気づき自己肯定感のもてる子を増やしていきたいと思います。また、ひめはる活動（縦割り活動）を柱に、人間関係を広めたり深めたりすることで、どの子もよさを生かし、自己有用感を高めていきたいと思います。

Q10 (保護者) 学校の設備等は、安全で充実したものになっている
 Q11 (保護者) 学校は事故防止に努め、子どもが安心・安全に過ごすこと、健康的な生活づくりに努めている



◎と○の合計が、Q10 は 91%、Q11 は 95%でした。学校施設の老朽化に伴い、安全面においては特に配慮しているところです。毎月、校舎内や校内の点検を行い、不備な点については修繕していますが、市の予算の関係もあり全てにおいて改善できていない現状もあります。その中でも、今年度、運動場の大きなコンクリートの塊を掘り起こす大きな工事をしました。今後も、子どもたちの安心・安全、そして、健康的な生活づくりに努めていきます。

Q12 (児 童) 学校からもらったお手紙を忘れずに家族に見せている
 Q12 (保護者) 学校・学年・学級の様子を通信や懇談会で知ることができる



◎と○の合計が、児童 93%、保護者 92%でした。多くの子どもたちが通信やお手紙を家族に見せていることが分かります。今後も、通信や校長室だよりなどを活用して、学校での様子を家族で語り合う一助としていただけると幸いです。また、コロナ禍も終わり、学校・学年行事が増えてきました。保護者の皆様に気軽に子どもたちの様子を参観できるように、お便りだけではなく、安心ひろめ一冊でも案内を配信したいと考えています。